

年頭の挨拶

真宗大谷派開教司教

大谷 裕



海外在住の全ての同朋の皆さまに、新年のご挨拶を申し上げます。

皆さま方には、平素より仏法聴聞につとめられ、法義相続・本廟護持の尊い御懇念を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。

さて、二〇二五年を振り返りますと、年始早々に北米開教区カリフォルニア州の大規模な山火事を皮切りに、日本の各地、さらには南米開教区においても大規

模な山火事が発生いたしました。また、火災にとどまらず、世界各地で水害、竜巻や地震などの自然災害が頻発し、そのような報道に日々心を痛めております。

先ずもって被害を受けられた方々に対しまして、衷心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を切に念じます。

さて、昨年は長きに亘って宗派の海外開教を担ってこられました伊東北米開教監督・ロサンゼルス別院輪番がご勇退をされました。残念ながら九月に行われました輪番交代式に立ち会う事は叶いませんでしたが、SNSを通じてその様子を拝見させていただきま

した。実に多くの方々が集い、非常に温かな笑顔の絶えない様子で、伊東前輪番のお人柄を象徴したような素晴らしい式典でありました。改めて、五十年もの長きに亘るご尽力に深甚なる謝意を表します。

さて、本年八月には私の故郷である南米開教区において第十四回世界同朋大会が、慶讃テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」の願いのもと、「同朋・ボン・アミー・ゴー多様性を生きる」を掲げ開催されます。

これまで三開教区に出向き、多くの方々と直にお会いし、言葉を交わして参りましたが、来る法縁の場で再び集い、また皆様方と再び同じ時を共有できますことを今から心待ちにしております。

最後となりましたが、私たち一人ひとりがいよいよ聞法精進し、海の内外のへだてなく、ともに深きいのちにめざめ、絆を確かめる生活を共に歩むことを念願

し、年頭に臨んでのご挨拶とさせていただきます。
本年もよろしくお願い申し上げます。

行事予定

一月

一日 修正会
四日 一月祥月法要
十一日 日曜礼拝
十八日 日曜家族礼拝
二十五日 永代経法要・新年会・総会

第十四回世界同朋大会

大会テーマ

「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの

意味をたずねていこう」

サブテーマ

「同朋（ボン・アミーゴ）ー多様性を生きるー」

会場

南米開教区 ブラジル連邦共和国イグアス市

同朋のお悔み



脇 知子様
九月三十日 御命終
行年八十三歳
湯尻健司ケネス様
十月二十八日 御命終
行年六十五歳
杉本房子ジュネット様
十一月四日 御命終
行年九十六歳
謹んで哀悼の意を表します。

年頭の挨拶

真宗大谷派宗務総長

木越 渉



二〇二六年の年頭にあたり、開教区の皆さまにご挨拶を申し上げます。

皆さまにおかれましては、平素より各開教区での活動にご尽力いただいておりますこと厚く御礼申し上げます。

さる二〇二五年九月に行われた宗会におきまして、再度宗務総長の重責に就かせていただくこととなりました。誠に身が引き締まる思いであると同時に、改めて宗祖が顕かとされた念仏のみ教えが全世界へとひろまりますよう、引き続き力を尽くしてまいりたい存じますので、開教区の皆様方におかれましてもお力添えを賜りますようお願いに

じ申し上げます。

さて昨年九月、私はロサンゼルス別院における輪番就退任式に参列をするため、北米を訪問させていただき、実に多くの方々とも言葉を交わすご縁を頂くことが来しました。実に六百人を超える方々が一堂に集い伊東前輪番を労う姿に、これまで歩まれたご功績の偉大さを思うと同時に、改めて海を渡った宗祖のみ教えが開教区の地で確実に根付き、人々の拠り所として花ひらいているのだと実感することが出来ました。

昨年は、新たに北米開教区に河和田監督、ハワイ開教区には井上開教監督をお迎えすることが出来ました。河和田開教監督は伊東前開教監督と共に開教の現場でご活躍をされ、井上監督は大谷大学において教鞭を執られておられました。宗派の人材養成を長らく牽引されてきた両氏によって、今後、宗派の海外開教の現場における人の養成をさらに力強く推し進めてい

ただけると期待を寄せております。

現在は、バークレーとフランスに在住する二名の方々が教師資格の取得を目指して日々研鑽を積まれております。従来の開教区という枠を超え、宗祖のみ教えが世界に広がっていくことを大変うれしく思っております。

最後となりますが、本年八月には、南米開教区において第十四回目を迎える世界同朋大会が「南無阿彌陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」という慶讃テーマのもと、「同朋ーボン・アミーゴー多様性を生きる」を掲げて開催されます。

多様性が叫ばれる昨今、私たちは「多様性」という言葉は理解できても、それを認め受け入れる事は容易なことではありません。大切なことは、相手の立場や文化・経験などの価値観を理解し、他を尊重する。そのことが無ければ、自己の無意識のバイアスを押し付

けるただの「わがまま」となり争いの種となります。

阿彌陀如来は、そのような私たちであっても、誰ひとり一人もれること無く救いたいという誓いを立てられました。そして阿彌陀如来の浄土の世界は、『阿彌陀経』に様々な音色や色が調和し、多様な生き物が共に生きる浄土の世界として描かれています。そこにいるすべてのものは、様々な差異を越えて認め合い、互いに光り輝くかけがえのない尊い「いのち」として語られています。

「ただ念仏して、弥陀にたすけまいらすべし」

私どもにかけられた大きな願に絶大な信頼を寄せ、共に念仏申しましょう。本年八月に皆様方とお会いできることを楽しみにしております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



別院より 新年のご挨拶

輪番 河和田賢淳

皆様あけましておめでとうございます。

昨年中には皆様のご協力により実りある一年となりました。

昨年九月に伊東憲昭輪番が引退され、その重責を引き継ぎました。五十年に亘る伊東輪番の開教に対するご苦労とご努力に衷心より御礼申し上げます。

私はこの別院にて一九八四年より開教使として勤めはじめ、その後ウエストコビナ東本願寺に十四年、そして十三年間のハワイ別院に奉職し、昨年九月にこの別院に戻って参りました。十三年のハワイ生活の間多くのことが変化しておりますが、別院、教区の皆様にあたたかく迎え入れていただき心より感謝いたします。

まだ不慣れな点もありますが、このロサンゼルスに

て皆さまとご一緒に仏法聴聞を重ねて行きたいと思います。

本年八月にはブラジルにて第十四回世界同朋大会が開催され、世界中の念仏同朋が一堂に会し「南無阿彌陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」、サブテーマ「同朋」(ボン・アミーゴ)多様性を生きたる」のテーマのもと異なる言葉、文化をなどそれぞれの違いを尊重しながら共に聴聞し語り合う機会をいただきます。

皆様とご一緒にこの稀なる大会に参加し、世界の同朋との交友と仏法聴聞を深めて行きたいと思います。是非この世界同朋大会にご参加いただきますようご案内申し上げます。

また別院では毎週の日曜礼拝、特別法要、各種クラスや座談会も変わらず行われております。皆さんの参加をお待ちしております。皆様と共に新たな活動も行い、別院をより活発で皆さんが安心して仏法聴聞を

できる場所を作ってゆいたいと思います。皆様のご意見、ご要望をお聞かせください。

本年も皆様の変わらぬ御協力とご支援をいただきます様お願い申し上げます。

合掌

開教使 長峯眞如

あけましておめでとうございます。旧年中は御門徒の皆さまより多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

二〇二五年は、前輪番である伊東憲昭師がご引退され、新たにロサンゼルス別院の輪番として河和田賢淳師をお迎えするという、大変意義深い年となりました。九月には、伊東師の五十年にわたるご奉職の歩みを、七百名近くの方々がともに祝いできましたこと、誠にありがたく存じます。

一方で、昨年は史上最悪とも言える山火事がロサンゼルスを襲い、多くの方々が困難な状況に置かれまし

た。また、世界では紛争や政治状況によって多くの家族が引き裂かれる現実も目にいたしました。このような時こそ、仏法がより多くの方々に届き、心のよりどころとなることを深く願っております。

このサンガの一員として、皆さまと共に間法し、教えを分かち合えることに深く感謝しております。今年の夏には、第十四回世界同朋大会がブラジルで開催されます。多くの皆さまにご参加いただき、ともに仏法を慶ぶひとときを分かち合えることを願っております。

皆さまにとって、二〇二六年が健やかで素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

合掌

開教係

フレデリック・ブレニオン

「希望はいいものだ。多分最高のものなのだ。そして、素晴らしいものは、決して失われない。」これは映画『ショーシャンクの空に』から引用したとても心に残る言葉です。

たとえば「かすかな可能性」であっても、希望を持てること自体が大切だと思ひ出させてくれます。

ギリシャ神話の「パンドラの箱」も、これと同じことを教えています。

パンドラが箱を開けて世の中にさまざまな災難を放つてしまいが、希望がこぼれ出さないように箱を閉めるお話です。

どんな状況に置かれても、希望を持ち続けることはとても人間らしいことだと思ひ出させてくれます。

私も、来年こそは、あらゆる面で少しでも良い年になつてほしいと切に願っています。

近年、世界やアメリカの状況を見ると、気持ち沈んでしまい、希望を失いそうになることがあります。

そんな中で目にしたのが、ブレイン・ヒガ師の言

葉でした。

「親鸞聖人は、自らを煩惱に縛られ、仏道を歩むことができない一闍提として見ていました。

しかし、自身の真の姿に気づくことで、すでに阿彌陀の大きな慈悲のはたらきに包まれていたことを悟られたのです。

阿彌陀仏の本願を信じ念仏申す道は、絶望する者にこそ希望をもたらし、もとより具わる仏性に目覚めさせるものなのです。」

読んでいて、本当にその通りだと思いました。

親鸞聖人は『歎異抄』でも、こんなふうに語っています。

「火宅無常の世界は、よろづのこと、みなもつてそらごとたはごと、まことあることなきに、ただ念仏のみぞまことにておはします」

もし私が確かな希望を持ちたいのなら、その土台は念仏のはたらきにこそ置かれるべきなんだと、改めて感じます。

つまり、無限の慈悲と智慧の名号に身を任せ、その名号が私を、そしてすべての人を、条件なく包み込んでくださっている。ただそのはたらきに希望を込めてお念仏ところ申す私のよりどころがあるのだと思います。

北米開教区より 新年のご挨拶

開教監督部 後藤謙彰

皆さま、明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。

早いもので、私がロサンゼルスに赴任してから今年で5年目を迎え、本年が任期最後の年となります。これまで、皆さまからは多くのご指導を賜り、また常に温かく接していただきましたことに心より感謝申し上げます。

赴任当初はコロナ禍であったこともあり、不慣れな環境に戸惑うことも多くございましたが、ここでの経

験は私にとって非常に貴重なものとなりました。最終年度となる本年は、悔いの残らぬよう、一層精進してまいります。

本年も変わらぬご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

開教監督部

長谷川智行

明けましておめでとうございます。旧年中は、別院や開教寺院、開教区に変わ

らぬご支援を賜り、心より御礼申し上げます。世界中どこを見回しても、紛争や自然災害、そして先の見えない経済の状況など困難な問題が山積し、私達の生活に様々な面で影響を及ぼしています。しかし、そうした問題により、私達の人生において最も大切なものは何か、あらためて深く考えさせられることであります。それはまた、私達のいのちの奥底の願いを思い起こすということでもあります。今年もまた親鸞聖人が浄土真宗と呼び、大切にさ

別院各組織より 新年のご挨拶

別院理事会

理事長 ロン佐藤

皆さま、新年あけましておめでとうございます。どうか本年が皆さまにとって、健康で実り多い一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

また、年末年始を穏やかに過ごしたなられたことを願っております。

一年を通して別院を支えてくださった皆さまに、改めて深く感謝申し上げます。

募金活動や各種行事にご協力くださった多くのボランティアの皆さま、本当にありがとうございます。

また、境内の美観と維持管理に尽力してくださった施設管理委員会と庭師の皆さまにも、心より感謝いたします。

法話をはじめ、さまざまなお力添えとご指導を賜りました伊東前輪番、河和田輪番、長峯師、そして監督部の長谷川師と後藤師に深く感謝申し上げます。

理事会の皆さまにも、その献身と助言、変わらぬご支援に感謝申し上げます。

さらに、スーザン・柏原さん、ミカ・伊東さん、ナインシー・栗原・ジョンソンさんには日々の寺院運営における多大なご足労と安定した支援に、心よりお礼申し上げます。

二〇二六年も、サンガの皆様と共に意義ある一年を重ねていくことを楽しみにしております。

今年八月には、世界同朋大会がブラジルで開催されます。

多くの皆さまにぜひご参加をご検討いただければ幸いです。

改めまして、私自身、そして別院への温かいご支援に深く御礼申し上げます。

合掌

ABAより

成人仏教会（ABA）より、皆さまに心より新年のご挨拶を申し上げます。

二〇二五年は、永代経法要と新年会昼食会をもってスタートいたしました。

二〇二五年を通してABA施設管理委員会は引き続き寺院の維持管理を担当してまいりました。今年は、御門徒の皆さまや地域ボランティアのご協力のもと、定期的に除草作業や、美しい庭園および寺院周辺の道路の清掃を行いました。フエンスへの落書きは塗り直され、大きなグラフィティについてはロサンゼルス市の落書き除去チームにより清掃されました。

また、リトルトーキョー地域における犯罪状況について、理事会へ継続的に情報共有を行っています。保

育園の子どもたち、職員、会員、そして来訪者の安全は、私たちにとって最優先事項です。

三月には、ABAがティースポンサーを務めた恒例のゴルフトーナメントが、大成功を収めました。五月には、東本願寺チームが地域ボランティアと共に第七回リトルトーキョー・スパークルに参加し、リトルトーキョーの歩道や道路の清掃活動を行いました。警備を担当してくださったフランク・エドワーズさんに感謝申し上げます。

同じく五月には、寺院の母親の皆さまをお祝いする母の日朝食会を開催しました。準備に携わっていただいた皆様、ありがとうございます。また、美しいお花をご寄付くださった島本リサさんにも心より感謝申し上げます。

六月下旬には、ウエストコビナ東本願寺のお盆祭りにてABAが輪投げブースを担当しました。

七月には、サンガの皆さま

まのご協力と共に、お盆祭りを開催いたしました。お盆前の週末の設営・準備としてお盆後の片付けにご協力いただいたすべての皆さまに心より感謝申し上げます。

お盆前日の設営には、多くの「ヒア・アンド・ナウ」の皆さまが参加してください、新しい担い手として大いに力を発揮してくださいました。

また、飲食の準備に携わってくださった皆さまにも、心より感謝申し上げます。

LAPDおよび警備会社からは、お盆期間中に大きな問題はなく、非常に安全な行事であったとの報告を受けています。八名のLAPD警察官とリトルトーキョー公共安全チームの皆さまが配置され、参加者の安全が確保されました。

八月には、別院でのビッグバーゲンセールおよび太田家でのビッグバーゲンセール②において、支援および警備を行いました。

初秋には、伊東憲昭前輪番のご引退をお祝いし、新たに河和田賢淳輪番をお迎えするという大切な節目を迎えました。輪番交代式および伊東輪番の退任記念行事に参列できたことを光栄に思うとともに、木越総長ならびに本山関係者の皆さまとお会いする貴重な機会となりました。

十一月には、報恩講が厳修されました。十二月には、大掃除を行い、恒例の餅つきをもつて一年を締めくくりました。ABA一同、すべてのボランティアの皆さまに心より感謝しております

ABAの活動にご関心のある方、また参加をご希望の方は、ぜひ寺務所までお気軽にご連絡ください。

合掌

婦人会

婦人会より、皆さま二〇二六年の新年のご挨拶を申し上げます。日頃より、行事へのご参加や温かいご寄付を通して

て、婦人会の活動を支えてくださっている寺院会員ならびにご友人の皆さまに、心より感謝申し上げます。

二〇二五年は、伊東憲昭前輪番の開教使としての五十年の節目であり、そのご功績を称えるとともにご引退されるという、歴史的な年となりました。また、ハワイの東本願寺別院より河和田賢淳輪番をお迎えいたしました。

婦人会の皆さまは、一年を通してさまざまな形でボランティア活動に携わっています。当番制で、祥月法要でのご参詣の皆さまへのご挨拶やお手伝い、御斎の提供、また片付けなどを行っています。誕生会では、婦人会および当番の皆さまが多彩な精進料理を持ち寄り、美味しい持ち寄り御斎を準備しました。報恩講では、栄養たっぷりで心のこもったおでんの御斎を用意しました。春・秋のお彼岸では、チキンカレーとベジタリアンカレー両方の御斎を準備しました。

また、毎年恒例のリトルトーキョー・スパークルに参加し、リトルトーキョー地区の清掃や落書き除去活動を行いました。さらに、月に一度、寺院庭園の除草や境内清掃にも取り組んでいます。婦人会の皆さまは、年に数回、仏具のおみがきにもご協力くださっています。

八月には、別院のビッグバーゲンセールおよび太田家においてビッグバーゲンセール②を支援し、寺院のための募金活動に尽力しました。年間最大の行事であるお盆では、多くの会員やご友人のご協力のもと、人気の栗まんじゅうやお寿司の準備、そしてお盆期間中の販売ブースの担当などを行いました。年末には、恒例の年末大掃除と餅つきにも協力しました。

婦人会では、世代を問わず新しい会員を歓迎しています。現会員と共に活動しながら絆を深め、一世・二世の婦人会の先輩方の歩みを大切に受け継いでいき

いと願っています。ご関心のある方は、ぜひ寺務所までお問い合わせください。

台掌

ジュニアYBA・ ダルマスクール

ジュニアYBAおよびダルマスクールから新年のご挨拶を申し上げます！

今年度の最初の数ヶ月は順調に過ぎました。ジュニアYBAは南加地区のさまざまなイベントに参加し、ダルマスクールの集いも毎月続いています。二〇二六年にはより多くの学びを得ることを楽しみにしています。先生方による特別なお話や活動にもぜひご参加ください！

大谷楽苑

東本願寺ロサンゼルス別院・大谷楽苑は、船井一恵先生の温かいご指導と美しいピアノ伴奏のもと、寺院の法要にて喜びをもつて歌声をお届けさせていただいております。

二〇二五年には、河和田ジニーさんを新たに合唱団の一員として迎え、とがで、大変うれしく思っております。

日頃より変わらぬご声援とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

合唱団一同、皆さまにとって素晴らしい新年となりますようお祈り申し上げます。

地域支援グループ

地域支援グループより、新年のご挨拶を申し上げます。

来年も引き続き、ダウンタウン・ウイメンズ・センタの女性たちのためにランチパック作りを行ってまいります。年間を通して、ご都合のつく時にどなたでもご参加いただけます。詳しくは、トリッシュ・ニコルソンまたはステイブ・中曽根までお問い合わせください。

この活動に参加している

ルンビニ保育園

ボランティアの皆さんは、地域の方々とながら、誰かの力になれることに大きな喜びを感じています。ランチパックを準備する時間とても楽しく、仕事というより、和やかな集いのように感じられます。皆様のご参加お待ちしております。

改めまして、皆さまにとって素敵な新年となりますよう願っております。

明けましておめでとうございます！あつという間に二〇二五年が終わり、新しい年が始まりましたね。皆さんが冬休みを家族や友達と楽しんだことを願っています。昨年も生徒たちが最大限に学び続けられるように努力してきました。思いやりのあるスタッフやご家庭の支えがあり、生徒たちは毎年成長し、新たなステップへ進んでいます。今年も引き続き、マユキ先生の日本語クラスやジョン先

生のムーブメントクラスを行っています。ダニー先生は、レッドルームの子どもたちのために、楽しく充実したクラス活動を提供し続けてくれています。今年はジャック先生が新たな道へ進まれ、寂しく思っておりますが、これまでのご尽力に心より感謝しています。

また、ボランティアのレイン・バーボッドさん、レイン・原田さん、アイリーン・太田さんのご協力により、これまでと変わらぬ週ごとの保育体制を維持することができています。ジャネット・伊東さんとイレイン・バーボッドさんには、週三日ランチのご提供をしていただいています。日々支えてくださっているすべてのスタッフの皆さまに、心より感謝申し上げます。

ルンビニ保育園のスタッフと委員会を代表して、皆様へ新年のご挨拶を申し上げます。皆様からの暖かいご支援とご寄付に心から感謝しています。さらに素晴

らしい一年になることを楽しみにしています！

お知らせ

永代経法要・ 新年会・総会

月二十五日(日)午前十時よりお勤めされます。永代経名簿に芳名が記載された全ての方々並びにかつて別院を支えて下さった全てのご門徒を偲び、勤められる法要です。ぜひご家族やご友人とお誘い合わせの上、ご参拝ください。

法要後には、第一二二回総会および新年会の開催を予定しております。

詳細につきましては、一月中に改めてご案内を郵送いたします。



最近の行事

別院・開教区報恩講

十一月十五日(土)に報恩講の集い、十六日(日)に別院及び北米開教区の報恩講が厳修されました。報恩講は、浄土真宗の宗祖である親鸞聖人の祥月法要であり、真宗門徒にとっては一年で最も大切な仏事です。

土曜日には報恩講のつどいが勤められました。お勤めに続き、河和田賢淳輪番による英語での和やかな座談会が行われ、ピザとサラダが振る舞われました。

日曜日に厳修された報恩講では、特別な勤行や蓮如上人の御文拝読などを特徴とする特別な法要となりました。見義信香師を講師として迎え、英語と日本語の両方でご法話をいただきました。法要後には、ソーシャルホールにて御齋をい

ただきました。今年も当番のボランティアの皆さまが、美味しい精進おでんとデザートを用意してくださいました。皆さんと談笑しながら食事を楽しむ、和やかなひとときとなりました。御齋の準備や後片付けにご協力くださった皆さまに、心より感謝申し上げます。

午後には帰敬式が執り行われ、今年は別院より二名の方が法名を授かりました。ご家族やご友人が見守る中、新たに仏弟子としての歩みを始められました。

今村安子さん、今村陽子さん、誠におめでとございます。



秋季セミナー

十一月二十三日(日)、日曜礼拝終了後の午後十二時半より、秋季セミナーを開催しました。

日曜礼拝での法話およびセミナーの講師として、バークレーの仏教大学院学部長であり、南アラメダ郡仏教会の常駐開教使でもある宮地崇先生をお迎えしました。テーマは「すべての人に向けた。仏陀の願い」でした。

宮地師は、現代の私たちにも理解しやすい言葉でお話しくださり、仏教用語も一つひとつ丁寧に説明してくださいました。今日の社会の中で仏教の教えをどのように受けとめるかを考える、たいへん分かりやすく有意義なお話でした。

今後また宮地師をお迎えできることを願っております。

ご参加くださった皆さま

まに、心より御礼申し上げます。

